

5 5. 不定詞〔形容詞的用法〕

He has a lot of things to do. 彼はすべきことがたくさんある。

I want something to eat. 私は何か食べるものが欲しい。

不定詞の形容詞的用法

(1) 〈to+動詞の原形〉が「～するための」「～すべき」の意味を表し、形容詞と同じ働きをするものを不定詞の形容詞的用法といいます。

(2) 〈to+動詞の原形〉は前の名詞を修飾（説明）します。語順は〈名詞+to+動詞の原形〉となります。（日本語とは逆で、後ろから前の名詞を修飾します。）

I want some water. (私はいくらかの水が欲しい。)

I want some water to drink. (私はいくらかの飲むための水 (飲み水) が欲しい。)

Ken has a lot of things. (健は多くのことがある。) 【a lot of … 多くの】

Ken has a lot of things to do. (健は多くのすべきことがある。) 【thing … 物、事】

He has a lot of homework. (彼は多くの宿題がある。) 【homework … 宿題】

He has a lot of homework to do. (彼は多くのすべき宿題がある。)

(3) 名詞に形容詞がつくときは〈形容詞+名詞+to+動詞の原形〉の語順になります。

I want some cold water to drink. (私はいくらかの冷たい飲み水が欲しい。)

(4) ～thing の語と不定詞の形容詞的用法

☆something は「何か、あるもの」という意味で、否定文・疑問文ではふつう anything を用います。

I want something to drink. (私は飲むための何か → 飲み物が欲しい。)

Do you have anything to eat? (あなたは食べるものを持っていますか。)

☆something は否定文では nothing を次のように用います。

She has nothing to drink. (彼女は飲み物を持っていません。)

He had nothing to eat. (彼は食べ物を持っていませんでした。)

☆形容詞がつくときは〈something+形容詞+to+動詞の原形〉の語順になるので注意。

Do you have anything cold to drink? (あなたは冷たい飲み物を持っていますか。)